

作文コンクール 佳作

北方領土と私たち

斑鳩町立斑鳩南中学校 北川 里桜

まず、北方領土とは、日本の北の方にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島のことを指します。問題となった国は、ロシアと日本であり、日本はロシアより早く北方領土の存在を知っていました。しかし、第二次世界大戦のおわり頃の 1945 年 8 月 9 日。ソ連は、「日ソ中立条約」に違反し、参戦しました。8 月 28 日から 9 月 5 日の期間で、北方四島（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）のすべてを占領しました。しかし、占領したものの当時の北方四島には、ソ連（ロシア）の人々は誰一人住んでいなかったそうです。日本人は、約 17000 人が住んでいたと言われていたが、ソ連は、1948 年までに北方領土に住んでいる日本人を強制退去させたそうです。それ以降の現在も、ソ連、ロシアの不法占拠が続いています。

そして今、ニュースになっている北方領土の問題は、「結局、北方領土って日本のものなの、それともロシアのものなの。」ということが、今、日本とロシアの総理大臣と大統領で話し合っています。

私は、日本の総理大臣、ロシアの大統領だけ、北方領土を意識するというのは、北方領土の問題も解決できないし、他にも、よい日本にしていくことも、難しいのではないかと思います。国民全員が、

「私には分からないから。」

「私には、僕にはそんなにえらい人でないから関係ない。」

と思わずに、プラスに考えたり、自分も将来もしかしたらするかもしれない問題について、前向きな姿勢でとりくんだら良いなと思いました。

そして、意識以外にも、「一緒に仲良く、北方領土で過ごす、一緒に住む」という考えがあります。私は思います。

「なぜロシアの子供と日本の子供は仲良くしているのに、なぜ大人同士はそんなに遠慮し合うのだろうか。」

ということ。テレビでロシアと日本の接し方の子供と大人の違いについて、やっていました。そんな中、私は、「一緒に住む」ということが思いうかびました。

まず今、北方領土にロシアの人々は約 16000 人の人々が住んでいます。しかし、それを「これは日本の領土だ。」

と言ったところで、

「いいえ、私たちロシアのものだ。」

という会話を永遠にすることでしょう。もし、ロシアの領土のままでは、話はすみません。日本のものになれば、北方領土に住んでいるロシアの人々は、故郷から出なければなりません。そうならば、その出来事でまた、日本とロシアの間で問題がおこるでしょう。一緒に過ごせば、ロシアの人々は、追い出されもしないし、日本は、故郷に戻ることができる。故郷に戻れる、残れる嬉しさだけでなく、異文化にふれることもできるでしょう。そしておたがいのことをよく知るでしょう。

日本とロシアの北方領土の問題。どちらかだけの領土とは決めつけずに、一緒に過ごす、住む、日本とロシアの領土でも良いじゃないのでしょうか。少しでも、「一緒に過ごす」という選択肢も頭に入れてほしいな、と思います。